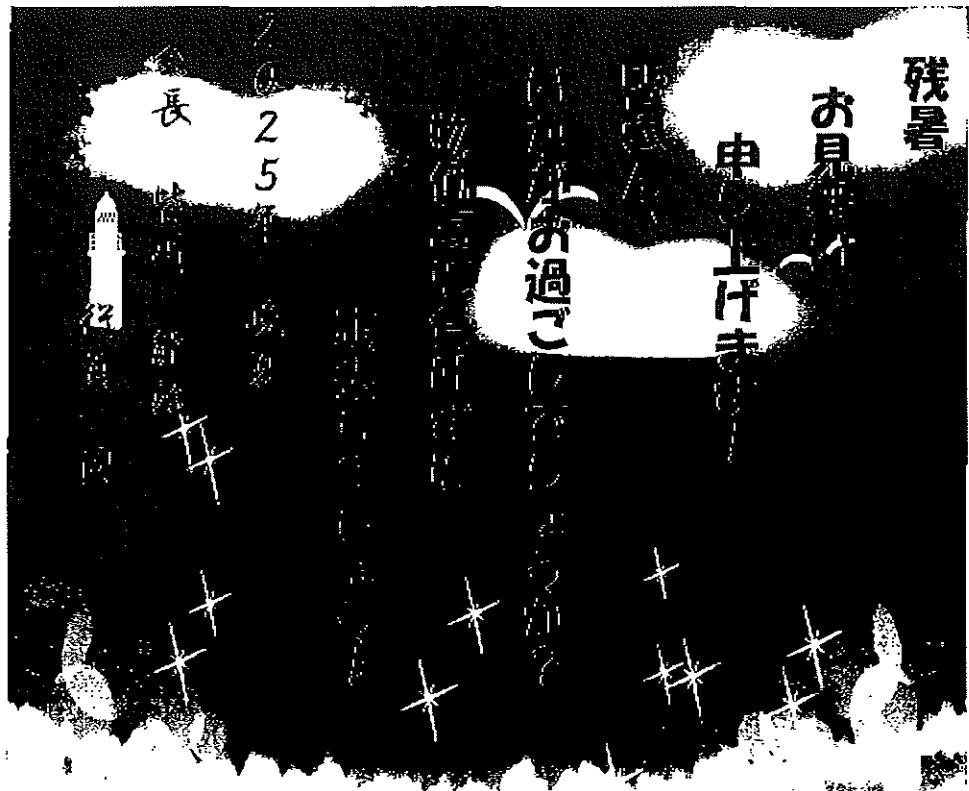


見附民商  
会報

田嶋洋輔

「武〇君は夏休みの宿題があることは分かっていましたが、先延ばしにしていました。



お見  
申  
げま

先にタコ糸を結んでペラトみたらにこで楽しんだらしくもつた。当然宿題は後へ後へと押しつけてきました。でも「まだ10回ある。まだ10回ある」と自分に言い聞かせていました。親も「宿題せえつあつてこねえんだ!!」など全く言わず、せつたらかしてこました。仕事が忙しく、子供の宿題までかまつてられないみたいでした。

もう限界です。

「山田研究」「ヒマツの研究」でした。例年のじとく

- ⑤ 種が採れた。で終わり。
  - ④ 花が枯れた。
  - ③ 花が咲いた。
  - ② 背が高くなつた。
  - ①

## 工作は皆のバイナリスの話

釘で打ってひっくり返して鉛筆立てにしました。

つて終わら。

**読書感想文**は学校で買った推薦図書が行方不明になり、感  
想も書けなくなってしまった。しばらくしてから、本屋(ブック  
ストア)で見つけた。

にして、何となく書きました。  
**国語ドリル**はさすがに自力

唐宋八大家文集

つていたので電話すると、お婆ちゃんが出て『家族で東京

に遊びに行つて、31日にしか返つていらない』と言われました。武の君は頭の中が真っ白になりました。

仕方ないので父親に泣きついたら、2、3発はたかれ、

大玉の算盤で全部やってもらいました。

何回もなたかれ泣きべそをかきながらやりました。

朝すつかり

明日から2学期です。

★夏忘れを計画している方募集